

経営比較分析表（令和6年度決算）

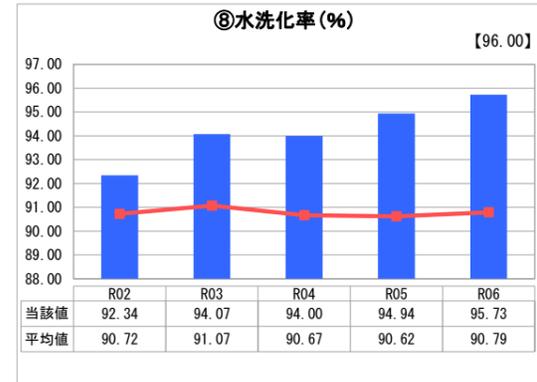
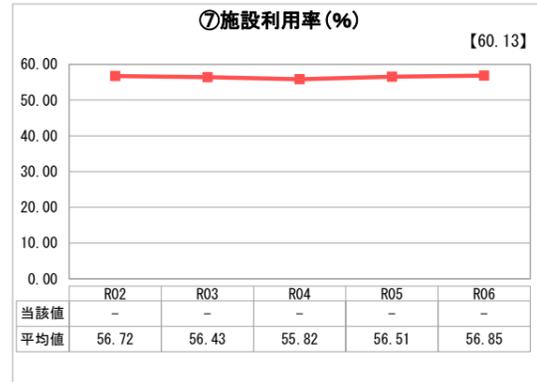
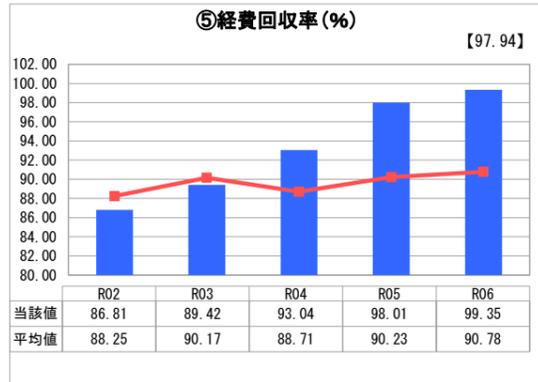
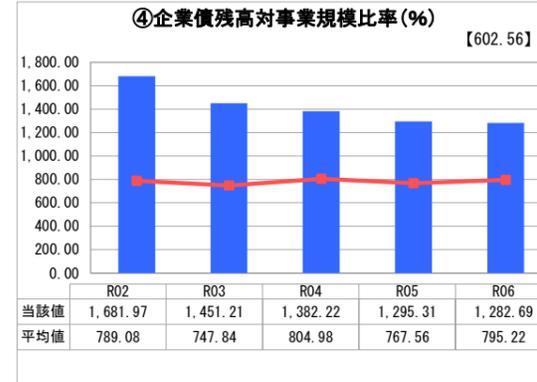
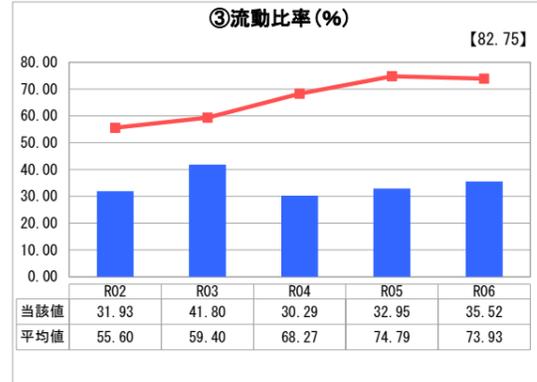
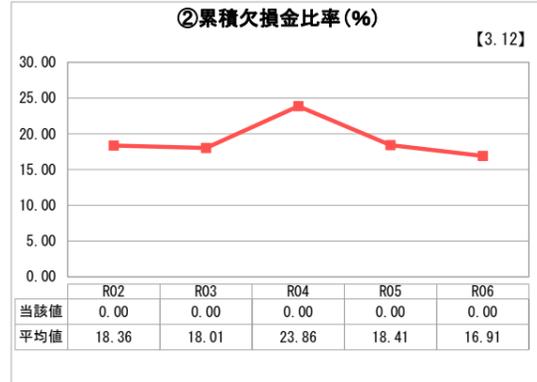
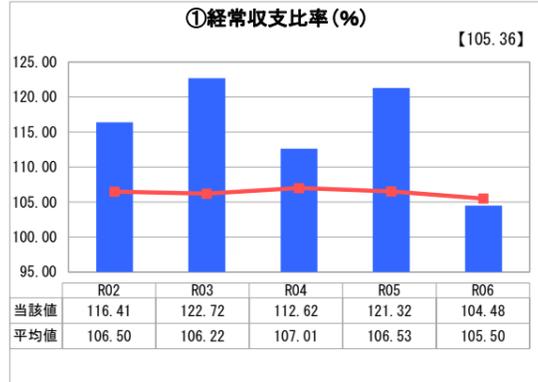
千葉県 八街市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.03	29.12	85.12	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
66,631	74.94	889.12
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
19,395	4.64	4,179.96

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えているものの、類似団体平均値、前年度より16.84%下回った状況である。汚水処理原価は類似団体平均値を下回り、経費回収率は、類似団体平均値を上回っているが100%に達していない。本来は使用料収入等で賄うべきコストについて、一般会計からの繰入金に依存しているのが現状である。また、企業債残高対事業規模比率は1,282.69%で、企業債現在高合計のうち雨水排水施設の整備に係る企業債現在高を除いて算定すると833.67%まで減少するものの、依然として類似団体平均値を大きく上回っていることから、経営改善する必要があるものと考えられる。

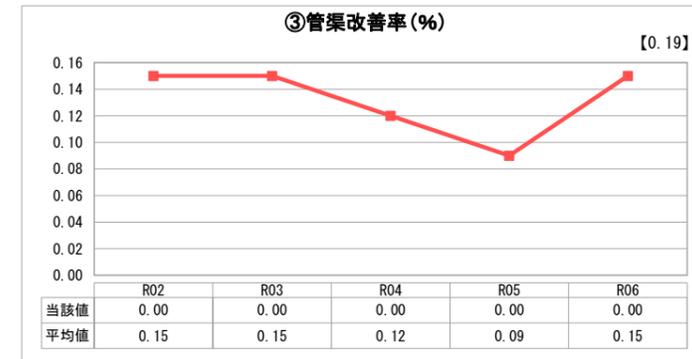
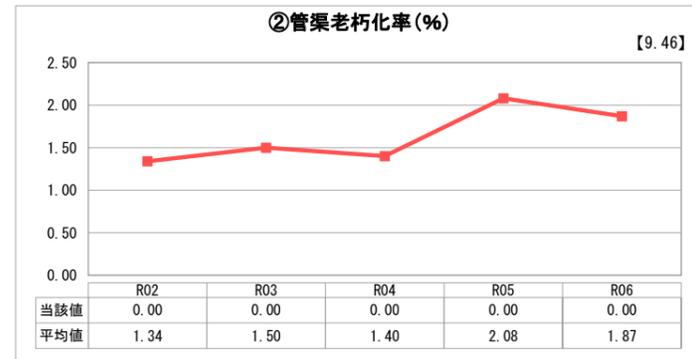
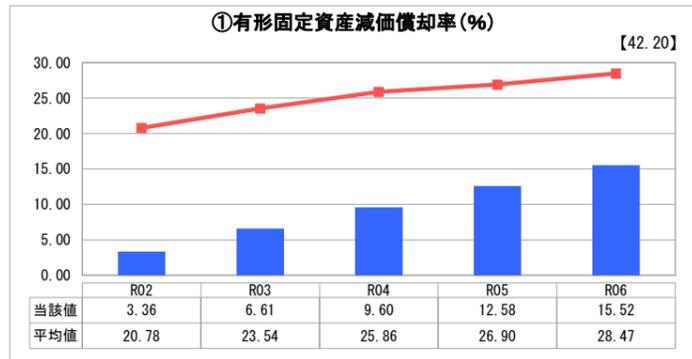
なお、流動比率は35.52%と類似団体平均値より低く、100%を大きく下回っている。流動負債のうち75.71%を建設改良債の償還金が占めているが、一年以内に支払わなければならない負債を賄っていない状況に変わりがないため、流動資産を増やす手段として、財政健全化の取組として、水洗化率の向上や使用料の見直しを行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は15.52%と類似団体平均値を大きく下回っている。今後、耐用年数に近くなる資産が増えることによりこの値は上昇していくことが予測されるため、その推移を注視していく必要がある。

また、管渠老朽化率、管渠改善率はいずれも0%であるが、最も古い管渠の建設が昭和52年度であり、令和9年度以降は法定耐用年数を超える管渠が増加していくことになるため、ストックマネジメント計画に基づき、管渠の老朽化具合等の管路調査を計画的に進め、適切な管理と修繕に向けての準備を進めているところである。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道事業の今後の経営は、人口減少に伴う処理水量の減少や管渠などの下水道施設の老朽化が加速していくことが予測されることを踏まえつつ、一般会計繰出金の削減等も考慮し、水洗化率の向上、施設整備の効率化、ストックマネジメント計画に基づく施設の延命化や維持管理費用の平準化を継続的に進める。また、収益面については、使用料の見直しを行うことにより現金預金等の財源の確保を図り、安定的な経営基盤の強化に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。